

第73期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

変化が大きい市場環境の中にありますが、
これまで投資してきたものが実を結び始めています。
電子、電動、ネットワーク化が進展する電子機器の市場で、
ヒロセ電機はこの変化をビッグチャンスと捉え、
中長期的な成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。
第73期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の
概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 石井 和徳



Q、当中間期の業績についてお聞かせください。

A、

今年度は自動車向けの取組み強化等によって売上伸長を目指しておりましたが、中国経済の減速感や自動車の世界的な販売減、また円高傾向による影響や米中貿易問題など、ビジネス環境は年初の想定より厳しい状態になっております。当中間期の業績に関しましては、一般産業機器向け売上の減少により前年同期比で減収減益となりましたが、営業利益は当中間期の業績予想を達成いたしました。主要分野別トピックスでは、スマートフォン向け・コンシューマ向け売上が堅調な伸びとなりました。一般産業機器向けと自動車向けにつきましては、厳しい状況が足元でも続いております。

Q、中長期的な成長に向けての取組みを教えてください。

A、

足元のビジネス環境の厳しさは当面続く見込みですが、中長期的な取組みの拡大は、妥協せずに進めていくつもりです。私どもコネクタ業界に対するお客様からのニーズは、5GやIoTなどの新たな技術の出現によって拡大しており、当社に対する期待の声もおかげさまで多くいただいている状況です。この大きなチャンスをしっかり捉え、成長拡大局面に向かっていくように取り組んでまいります。

※P.5-6にて、ヒロセ電機の中長期成長戦略についてご説明しております。

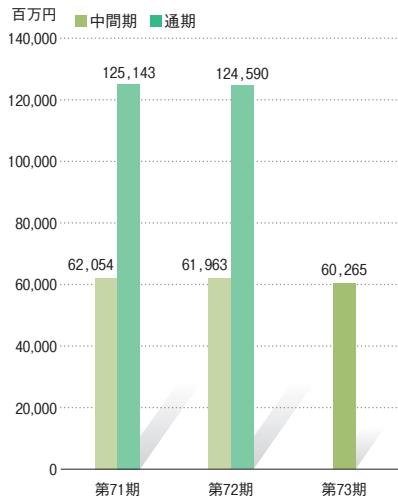
Q、最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

A、

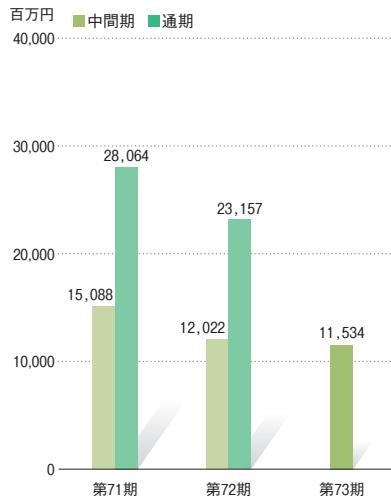
いつも多大なるご支援をいただき感謝しております。私どものビジネス環境は今大きな転換点を迎えていると認識いたします。これまでと同じ延長線のような考え方ではうまくいかなくなり、これからの変化は、私たちの想定以上のスピードで進んでいくものと考えております。この対応方法は、まず第一に事業の加速化であり、仕事の量も質も上げていく必要があります。さらに変化への柔軟な対応力も必須であると考えております。株主様への還元に対する考え方も、事業の成長戦略に基づく投資とともに、株主還元のさらなる充実を目指してまいります。また、ESG活動などにおけるガバナンス強化による経営の透明性向上や企業活動を通じて、社会貢献に注力する私どもの姿も見たいと思います。株主の皆様におかれましては、今後ともこれまでと変わらぬご支援いただけますことをお願い申し上げます。



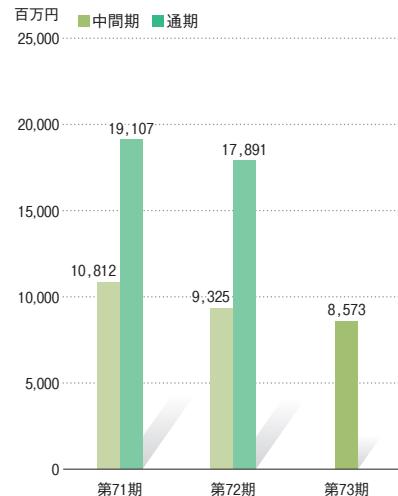
売上収益



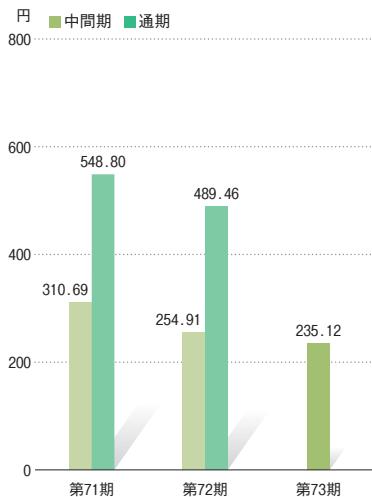
営業利益



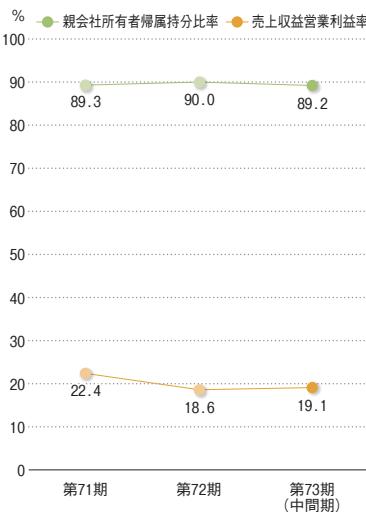
親会社の所有者に帰属する当期利益



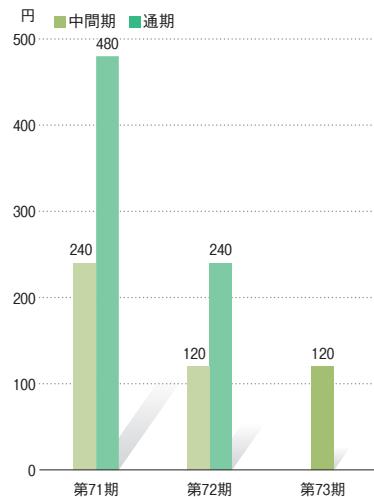
基本的1株当たり当期利益



親会社所有者帰属持分比率、売上収益営業利益率



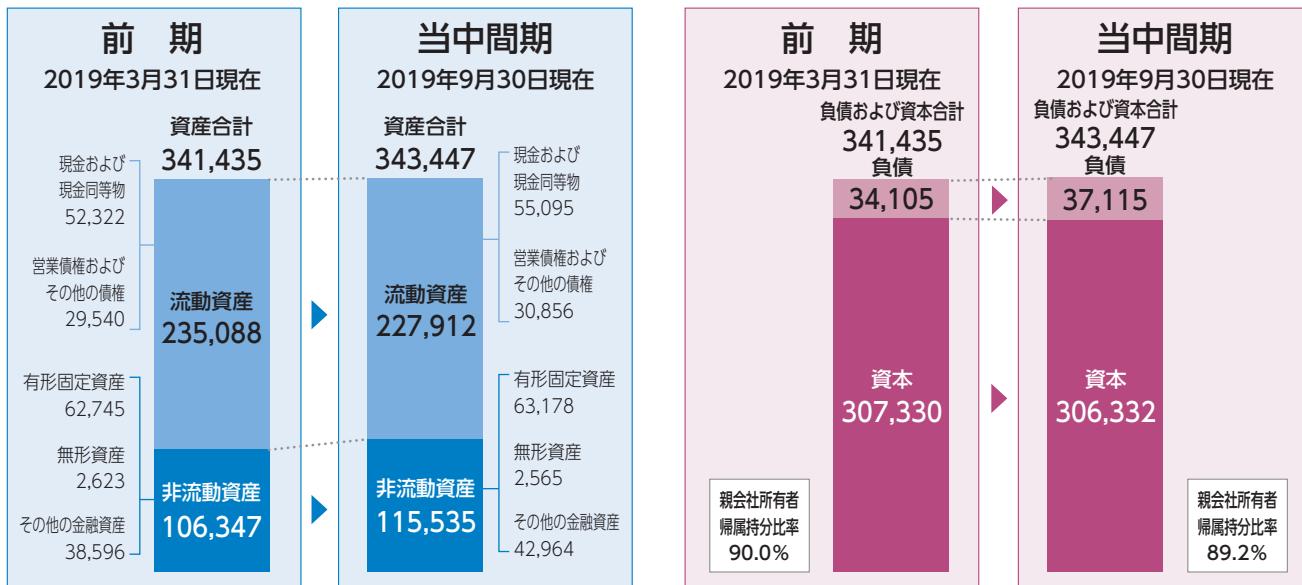
1株当たり配当金



※第71期以降は国際会計基準（IFRS）を適用しております。

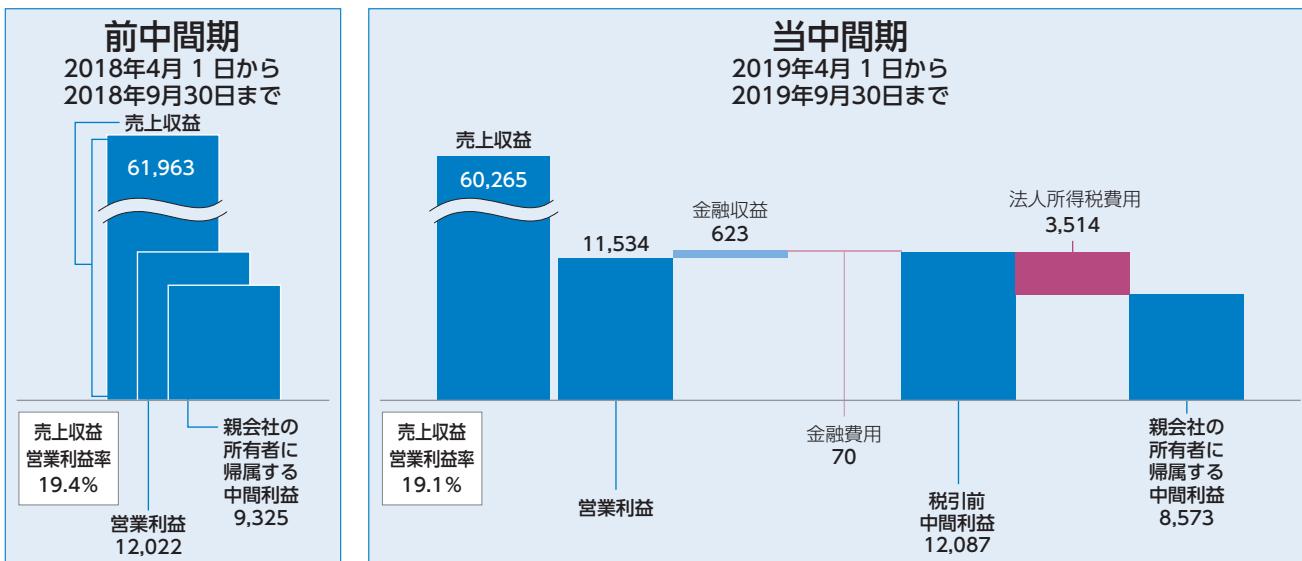
連結財政状態計算書の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



中長期成長戦略とは

ヒロセ電機の中長期成長戦略のベースとなるものが、コンシューマ・産機・自動車をビジネスの3本柱とする分野戦略です。コネクタの分野は、主にスマートフォンを含むコンシューマ向け、一般産業機器向け、自動車向けの3つに分類されます。各分野の市場性、生産数の規模や製品寿命などは、それぞれ異なり変化も多様ですが、分野や製品群を特定することなく、どの市場向けのもので、技術が先進的であるビジネスチャンスに挑むのがヒロセ電機です。主要3分野の「3本柱」を分野横断的に強化することが、将来の成長につながるものと考えております。

成長への力強い3本柱

① コンシューマ

(スマホ・PC・カメラなど)

コンシューマ製品は、最も最先端の技術が使われる製品です。

コネクタも、最新の小型で精密なものが要求されます。

スマホだけでなく、イヤホンやウォッチなどのウェアラブル機器にも、コネクタは使われています。

② 一般産業機器

(ロボット・医療機器など)

省人化による産業用ロボットの需要の高まりや、IoT化による電子機器の増加などが期待できます。

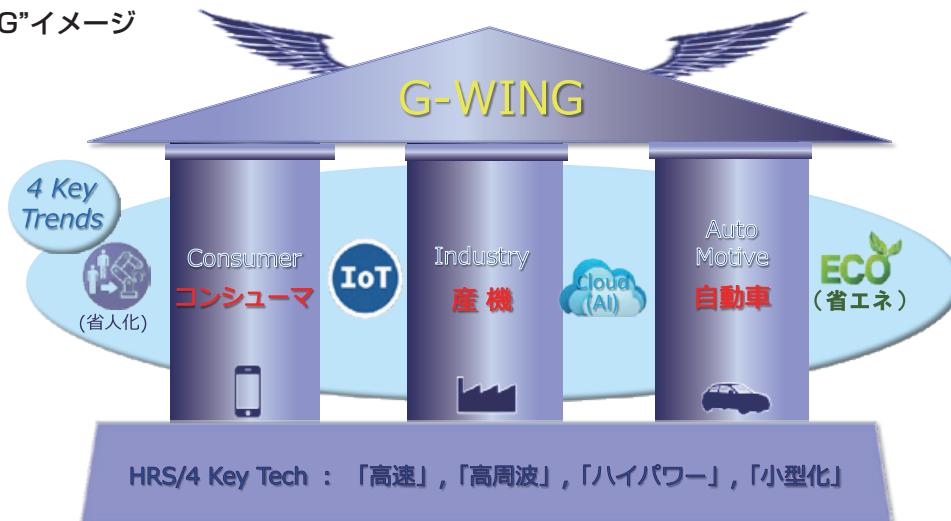
また、5Gの発達により通信量が増大し、より速い通信が必要とされると、さらに高性能なコネクタが求められます。

③ 自動車

電気自動車や自動運転などの新しい自動車の登場で、コネクタのニーズも変化しています。

自動車の機能増に伴い軽量化が求められており、小型・精密かつ厳しい試験をクリアした高い品質のコネクタが使われています。

▼“G-WING”イメージ



技術の進化と新しい時代

電子機器、電子部品業界は、今大きく変化しております。

通信の高速化でスマートフォンなどの個人利用でもビッグデータを活用することが可能になり、自動車はセンサーや通信技術によって自動運転の実用化に向かっているようです。

このように市場の変化に伴い、ヒロセ電機に求められる技術は、従来より高度化してきております。

お客様からのニーズに応える技術力をさらに向上させることが必要であり、モノづくり力・技術開発力・グローバル対応力を進化させる努力を、今後も継続してまいります。

4 Key Tech

成長のための4つのキーテクノロジー

① 高速

最新の解析技術と高度な金型技術で高速性能を提案。さらに設計段階からノイズの軽減を考慮します。

② 高周波

迫り来る5G時代に向け、高度な設計技術と生産技術で、高い利便性・安全性の高性能コネクタを提供します。

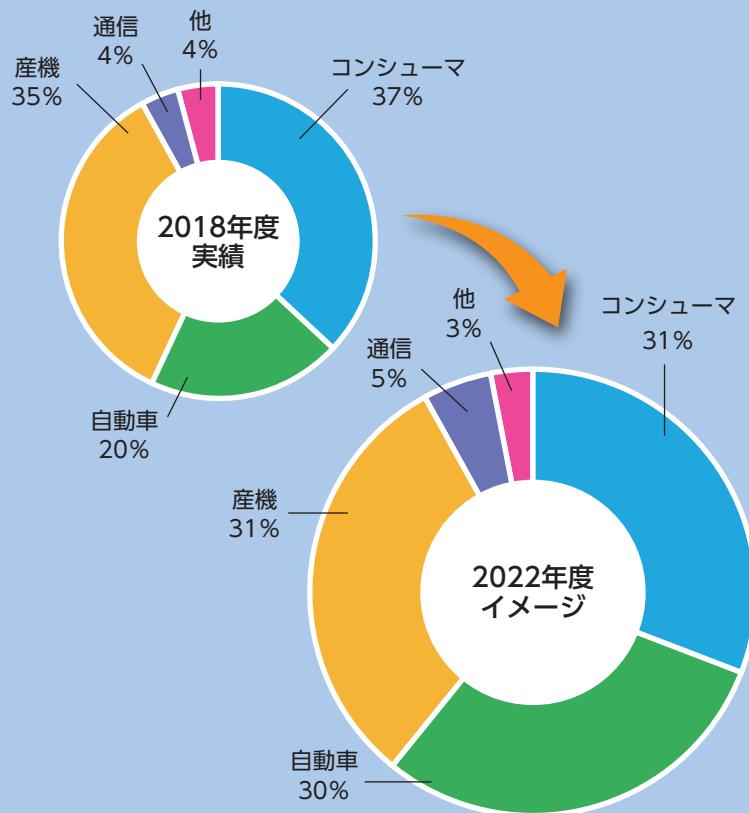
③ ハイパワー

近年の新たな取組み、大電流用コネクタ。回路をより安全で簡単に接続できるような提案を行っています。

④ 小型化

高性能なコネクタをより小型化することで、電子機器の限られたスペースも有効活用でき、さらに使いやすく！

▼分野別売上構成比比較



多極コネクタ



当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタなど多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクスなどの分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであります。

当中間期の連結売上収益は533億13百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は108億72百万円（同2.9%減）となりました。

売上収益 **53,313**百万円（前年同期比 0.2%増）

88.5%



同軸コネクタ



同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォンおよび4K・8K放送設備などに使用されるコネクタであります。光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当中間期の連結売上収益は49億82百万円（前年同期比23.0%減）、営業利益は5億31百万円（同41.9%減）となりました。

売上収益 **4,982**百万円（前年同期比 23.0%減）

8.3%



その他の製品



以上のコネクタ製品以外の製品としてマイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。当中間期の連結売上収益は19億70百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益は1億31百万円（前年同期は営業損失84百万円）となりました。

売上収益 **1,970**百万円（前年同期比 13.2%減）

3.2%

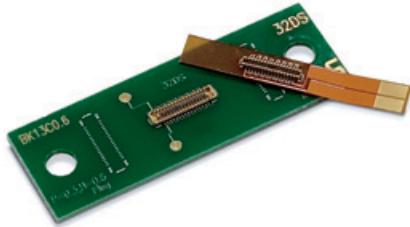


新製品紹介

BK13 シリーズ

スマートフォンの多機能化やウェアラブル機器の小型化などによる部品の高密度実装が加速しており、内部接続コネクタにはさらなる省スペース化が求められています。一方、セットの組立現場ではコネクタの小型化に伴い、作業者のミスによるコネクタの破損が増加していることが問題となっています。BK13シリーズは最先端の省スペース設計、さらに筐合誘い込み部分を金属で補強する【Full Armored構造】により、筐合作業ミスによるコネクタ破損を低減する設計です。セットの高密度実装と生産現場での歩留まり改善の両方を実現し、

スマートフォン・ウェアラブル機器の進化に貢献します。



FH67 シリーズ

車載用途で求められる信頼性を備え、“組立時にロック操作が不要”な垂直接続タイプのFPC/FFCコネクタです。現在、ものづくりの現場では人手不足、賃金上昇、品質のバラつき抑制等の課題を抱えています。また、多様な消費者ニーズに多品種大量生産（マスカスタマイゼーション）で素早く低コストで応える取組みが進んでいます。こうした背景から、生産の自動化ニーズが高まっています。FH67シリーズは、ロック操作が不要なためロボットによる組立可能、かつ自動化に貢献します。また、水平接続タイプのFH63Sシリーズと併せ、車載や産機市場で求められる多様なニーズに応えます。



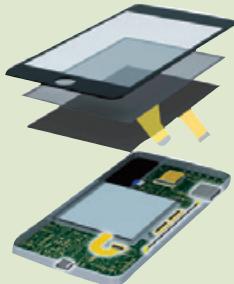
ヒロセのコネクタ道場



“コネクタって何？”

コネクタってそもそもどんなもので、
どんなところに使われているの？

コネクタは機器・部品同士を繋ぎ、電気や信号を正しく通す電子部品です。



電子機器を正常に使用するには、機器内部の部品同士に電気・信号が正しく通っている必要があります。かつては主にはんだ付け（合金で部品を溶接）していましたが、今はコネクタを各部品に接着し、コネクタ同士をパチッとめぐるだけで、電気・信号を通すことができます。

コネクタを使用することで、特殊な道具を必要とせず簡単に取り外しが可能となり、電子機器の利便性が向上しました。

コネクタには、機器内部の部品を接続するものと、外部のケーブルなどを接続するものがあります。身近な外部コネクタは、例えばスマートフォンの充電ケーブルの先の部分と、本体側の差し込む部分に使われているものです。

電子機器の内部にも多数のコネクタが使われており、実はスマートフォン1台には、およそ10個以上ものコネクタが使われているのです。

◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



西日本営業所

関西支店

中部営業所

北関東営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



広瀬(中国)企業管理有限公司



ヒロセエレクトリックインド



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセコリア



ヒロセエレクトリックマレーシア



ヒロセエレクトリックUSA



ヒロセエレクトリックシンガポール



台廣電子股份有限公司



ヒロセエレクトリックインドネシア



広瀬香港有限公司
広瀬電機香港貿易有限公司



会社概要 (2019年9月30日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 1948年6月15日
 従業員 連結4,793名 (パートタイマーを除く)
 資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	石井和徳
専務取締役	中村充男
取締役	桐谷幸雄
取締役	岡野広明
取締役	福本広志
取締役	佐藤博志
取締役	李相燁
社外取締役	堀田健介
社外取締役	元永徹司
常勤監査役	千葉良一
社外監査役	杉島光一
社外監査役	三浦健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏、同 元永徹司氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行済株式総数 36,462,642株
 (自己株式1,919,178株を除く)
 株主数 3,967名

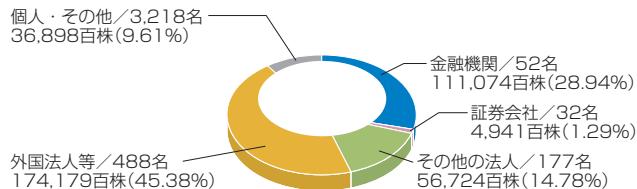
大株主 (上位10名)

株主名	持株数
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 380055	37,769百株
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	31,476
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー 505223	31,375
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	19,866
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	16,388
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	14,358
有限会社エイチエス企画	12,215
みずほ信託銀行株式会社 信託口0700065	8,707
みずほ信託銀行株式会社 信託口0700066	8,652
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口6)	6,037

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式19,191百株を保有しております。

株式分布

株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
(<https://www.hirose.com/jp/ir/>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

インターネット <https://www.smtb.jp/personal/agency/>
ホームページURL index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についての住所変更等のお届出およびご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ヒロセホームページの注目コンテンツ！

① 自動車・ADASに
おすすめのコネクタ



② ビルの電気設備に最適
EF2シリーズ 導入事例



③ コネクタQ&A
おしえて！エイチくん



④ 個人投資家の皆様へ



QRコードを読み込むと、該当のホームページ
にアクセスすることができます！